

解答例・指導のポイント 給食の量は「全員同じ」か「自分で選べる」か、どちらがよいか？

解答例 1

資料1を見ると、量を選べた月の食べ残しは八パーセントで、全員同じ量の月の十八パーセントより、大きくへっていることがわかります。また資料2からは、量が多くて食べきれない人と、少なくて足りない人の、両方がいることが読み取れます。

わたしは、イの自分で量を選べるようにする案がよいと考えます。なぜなら、資料2のように、ちょうどよい量は人によってちがうからです。自分に合った量を選べれば、資料1のように食べ残しもへり、みんなが気持ちよく食べられると思います。

解答例 2

資料2を見ると、量が「ちょうどよい」人も三割ほどいることがわかります。資料1では、量を選べると食べ残しはへりますが、選ぶのに時間がかかり、配るのが遅くなることも考えられます。

わたしは、アの全員同じ量にする案がよいと考えます。全員同じなら、配るのが早く、公平だからです。また、いつもは残す苦手なものも、少しずつ食べる練習になります。食べきれないときは、先生に減らしてもらうようにすれば、食べ残しはへらせると思います。

指導のポイント

- ・ 第一段落は資料の事実。資料1（食べ残しの割合の差）と資料2（困りごとの割合）を引用できているかを見る。
- ・ 第二段落は立場＋理由。イ＝一人一人に合う・残食減、ア＝公平・早い・食育。どちらも資料と結びついていれば正解。
- ・ 形式（八～十行・二段落・◆）を内容より先に確認する。



School Stock | 学校現場で使える無料の教材・素材集

自分が現場で使うことを念頭においた教材を作成・共有しています。登録不要・無料でお使いいただけますが、先生方の良心を信じて配布しています。最新の教材や、ほかの教科のプリントは、noteマガジンからご覧いただけます。

https://note.com/tozaki_edu/m/maab6a89240fa

作成者

外崎 顯博（とざき あきひろ） 福岡県出身。2017年より福岡県の公立小学校教員として勤務。校内のICTコーディネーターとして授業でのICT活用を推進。Google認定教育者・GEG Chikuho（Google Educator Group）リーダー。教材の開発・監修、教員向けの生成AI・教育DX研修に取り組む。

連絡先：EdtechChikuho@gmail.com / X：@Tozaki_edu / note：
note.com/tozaki_edu / Facebook：facebook.com/profile.php?
id=100013297578450



公式LINE

【ご利用にあたって】本プリントは、学校・家庭・学習支援の場での教育目的に限り、自由に印刷・配布してお使いいただけます。無断での販売、Webサイト等への転載・再配布、自作教材としての公開はご遠慮ください。文章・図表・データは School Stock のオリジナルです。